



データネットワーク関連業務委託（設計・構築・保守・撤去の一括契約1,2）の契約変更

テクノロジーサービス局

2021年2月10日

審議事項

- 大会会場におけるデータネットワークの設計・構築・撤去までの一連の構内通信インフラ工事とネットワーク運用に関して、NTT東日本およびNTT西日本と締結した Telecommunications Supply Agreement に関する個別契約【大会用通信設備提供に係る一括契約：設計・構築・維持運用・撤去】（以下「一括契約」）に関して、これまでに発生した追加要件や大会延期に伴い発生した追加作業などについては、その都度、覚書の締結という形で暫定的に合意記録を残してきました。
- 今回、延期された大会計画にもとづき、本格的に競技会場等の構築作業を再開するにあたり、これまで追加・合意した業務および会場ネットワーク要件(提供条件・物数)を反映し、一括契約の契約内容および金額を変更することについて、ご承認頂きたい。
- なお、COVID-19対策に伴い発生する追加要件については、1月末を目途に一旦確定させ、本一括契約とは別に、3月末までにNTT東日本・NTT西日本と契約締結し、ネットワーク設計・構築に着手する予定です。

背景 (1/2)

- 一括契約について経営会議（2019年5月16日）および理事会（同年6月11日）にて承認頂いた時点では、会場ごとの図面も確定していなかったため、過去大会のデータや先行検討していた一部会場の事例^{*1}などを参考に、機材数や工数を算定していました。
- その後、財務部と相談のうえ、不確定な要素は基本的にすべて一旦削除し、最小限の費用と見込まれる内容・金額をまずは確定させ、その上で総額の10%の特有費（将来想定される上振れリスクへの対策費）を加味した金額で、一括契約を締結（2019年7月）しました。
- その後、会場ごとの設計が進んだ結果、2020年1月時点（大会延期決定前の時点）で、当初想定より光ケーブル長の増加、ケーブルを終端するフレーム数(以下、CCF)の増加、高所作業の必要性などが明らかになるとともに、マラソン会場移転など後から発生した個別追加要件（各FAによる予算措置が前提）、大会延期を受けた一次撤去など追加作業、が明らかになってきました。

*1 先行的に検討が進んでいた有明アリーナ会場をモデルとして、IOCのアドバイザーによる過去大会実績からの提言などを元に、検討・見積もりを行った。

背景 (2/2)

- 前述の要件変更・追加に対しては、ステアリングコミッティ*の中での議論・承認を経て、合計7回（NTT東日本と4回、NTT西日本と3回）の覚書締結により実施してきました。

* ステアリングコミッティとは、正式名称は「TSA個別契約【大会用通信設備提供に係る一括契約】に関する委員会」であり、企画財務局長・TEC局長が出席し、一括契約の条件変更など、重要事項の調整を行う月次開催の運営委員会である。東京都・NTT等も参加している。

2019.7		2019.10		2020.3		2021.1		2021.10	
マイルストーン	Test event (WAVE1・2)			TR1	▼大会延期決定	▼現在	Test event TR2	Olympic and Paralympics	
契約	▼一括契約締結(東西) 以降、月次でステアリングコミッティを開催			▼4月覚書-東①	▼8月覚書-東② ▲10月覚書-東③	本変更契約		CR対応覚書締結	変更契約(大会終了後)
大会本番に関わる対応	A) 契約時に存在した要件	▼12月～3月 実施設計の結果(ステコミ報告) ▼12月副総長レク			各FA調整 (SIM化/飛び地CCFの削減/ケーブルの転がし化等)	FA要件の低減依頼と結果報告 ▼9月MOCミーティング ▼10月MOCミーティング	次ページにて詳述(今回反映予定)		
	B) 追加要件	▼10月:マラソン会場変更(東①) ▼共益費の支払い、大会本番の追加業務等(東①)			重要性や必要性を見極めた上で提供可否および実現手段を検討、判断		覚書東①以降の追加要件(あわせて今回反映予定)		
C) 大会延期に関わる対応	本変更契約で整理する範囲			▼4月～会場からの撤去、移設・退避要請(東②③④/西①)		▼2月～:工事再開の体制再構築			
				▼4月:工事体制解除(東②/西②) ▼6月:仕掛部材のMDC搬入・保管(東②)		▼10月:残置設備の保険加入(東③/西②)(東②/西②)			
				▼維持運用業務の要件変更と期間変更(東②)					

実施内容（1/3）

A) 会場ごとの設計確定に伴う要件変更

- 会場ごとの設計が進んだ結果、2020年1月時点（大会延期決定前の時点）で、当初想定より光ケーブル長の増加、ケーブルを終端するCCF数の増加、高所作業の必要性などが明らかになり、特有費からの手当てを行っても、**金額の超過**となる見込みです。

実施内容（2/3）

B) マラソン会場移転など後から発生した個別要求などに基づき発生した要件追加

- 後から発生した個別要求など追加の要件については、内容を吟味・精査したうえで最適な実現手段を検討・判断してきた結果、**費用の増加**となる見込みです。

実施内容 (3/3)

C) 大会延期を受けた一次撤去など追加作業

- 大会延期を受けて、基本的には構築済みのネットワーク設備は会場オーナーの了解を前提に、そのまま残置する方針としていましたが、一部の会場において施設所有者からの強い要望等にもとづき、一時撤去・移設退避などがやむを得ないとの判断を行い（ステアリングコミティにて協議・承認）、NTTとの間で覚書を締結して実施しました。
- このための対処費用としては**増加**となります。

内容	
工事の中断措置	工事の中断に伴う構築済みネットワーク設備の保管・移設、安全対策、機材等のレンタル解約費など（基本的に全会場）
工事の再構築措置	中断した工事再開に関わる事前準備、再工事に関わる稼働、工事機材等のレンタル費用等（基本的に全会場）
一時撤去・再構築、移設、退避	各会場からの要望に基づく構築済み設備の一時撤去、再構築（ASR,ASP,SFWなど全13会場）
業務ネットワークの運用期間延長	業務ネットワークの運用期間延長に伴う追加の維持運用業務や要件変更（デグレ）に伴う設定業務（晴海オフィス、データセンターなど）
部材のMDC搬入・保管	NTTおよびサプライヤ側で保管していたネットワーク工事部材のMDCへの移設・保管、会場への搬入（会場の倉庫で保管できない会場）
保険加入	構築済み通信設備や各会場またはNTTビルに保管されている機器の損害保険（既存の保険が適用できない保管場所）

契約内容(1/2)

- 執行予算科目 : 通信インフラ 大会関係者向けLAN設備 (TEC)
固定電話通信 PBX (TEC)
放送用回線 CATVサービス (TEC)
各FAの予算科目 (詳細は調整中)

契約内容(2/2)

- 契約件名 : Telecommunications Supply Agreement に関する個別契約
【大会用通信設備提供に係る一括契約：設計・構築・維持運用・撤去】
- 契約相手先 : NTT東日本、NTT西日本（通信サービスパートナー）
- 関係ステークホルダー : IOC（TOCで連携）、OBS（IBCのNW構築・運用）、
組織委員会のネットワークに関与するパートナー企業(NTT,
NEC, パナソニック等)、各FA
- 予定調達方式 : パートナー契約
- 予定契約期間 : 2019年7月～2021年12月
(原契約期間：【東日本】2019年7月5日から2021年12月31日【西日本】2019年7月12日から2021年12月31日)
- 契約形態 : TSA準拠（設計、構築、維持運用、撤去）

スケジュール、マイルストーン

2020						2021					
~12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	~12

COVID-19対策



一括契約

一括契約と連携してCOVID-19対策の設計業務に対応

